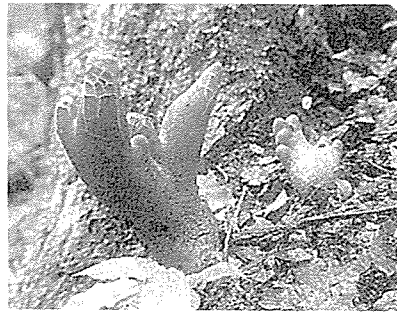


2014年(平成26年)8月29日(金曜日)

生駒市 農林部 広報

カエントケ食べないで

生駒市の生駒山麓で、猛毒のキノコ「カエントケ」が見つかったとして、同市はハイキング道などに貼り紙をし、市のホームページにも情報を掲載した。死に至る場合もあり、「絶対に食べず、触らないで」注意を呼びかけている。カエントケは赤やオレンジ色で、円筒形か土から手の指が出ているような形。コナラなど、ナラ



類の枯れ木の根元近くに多く発生する。汁が皮膚に付着すると炎症を起こし、食べるとわずかな量でも運動障害や多臓器不全などの症状が出て、死亡することもあるという。

キノコの愛好家らでつくる「奈良きのこの会」の会員が15、17日、同市元町のハイキング道付近や同市北新町の住宅街近くの広場など

で計数十本(高さ約2〜8センチ)を発見し、写真、同会撮影し、市にメールで通報。同市も21日から現地調査を始め、27日に北新町のハイキング道で発生を確認した。致死量は3つとされ、県森林技術センターの担当者は「毒性が極めて強く、ごくわずかでも中毒症状が起きます。決して手に取らないで」としている。

生駒山麓に猛毒キノコ 市、注意呼びかけ

猛毒キノコ 生駒で注意を

生駒市の生駒山麓で、猛毒のキノコ「カエントケ」が見つかり、同市は市内のハイキングコースに看板を設置するとともに、ホームページなどで注意を呼びかけている。

カエントケは高さ3〜13センチで、円筒形や、手の指のような形。鮮やかなオレンジや赤色で、コナラなどのナラ類の枯れ木の根元に発生するという。

触っただけでも炎症を起こし、食べると短時間で下痢や嘔吐から運動障害や言語障害、多臓器不全などの



手のような形のカエントケ

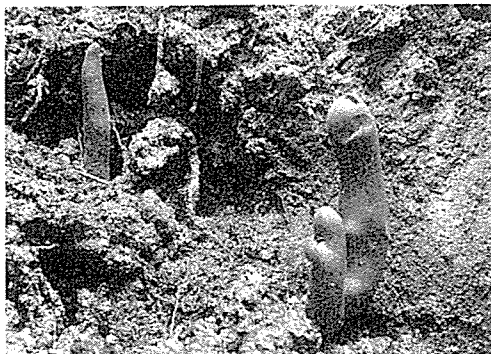
ハイキングコースに「カエントケ」

症状を引き起こし、死亡する可能性もあるという。

キノコの愛好家らでつくる「奈良きのこの会」(下原幸士・世話人)の会員が15、17両日に同市元町のハイキングコース付近や同市北新町の住宅街近くの広場などで搜索したところ、約30本のカエントケを発見。市などに通報したという。

市も21日から調査を開始。看板を設置した27日にも同市北新町のハイキングコースで数本を発見した。

下原さんは、「生駒山麓周辺ではナラ枯れが激しくなっていて、カエントケも増えている。触るだけでも危険ということを子供たちにも知ってほしい」。市経済振興課の担当者は「もし見つけた場合は決して触らず、市に連絡してほしい」としている。



細長い形のカエントケも
(いずれも奈良きのこの会提供)

Ikoma City Official Homepage 生駒市

〒630-0288 奈良県生駒市東新町8番38号
代表電話:0743-74-1111 代表FAX:0743-74-9100
執務時間 平日8時30分から17時15分まで【開庁日 土、日、祝、年末年始】

新着・お知らせ

いいね! 93

ツイート 100

猛毒きのこ『カエンタケ』に注意してください。

猛毒きのこ『カエンタケ』が市内山間部において発生しています。『カエンタケ』はナラ類が枯れた後、根際に発生し、触っただけでも炎症を起こすことがありますので、写真のようなきのこは、絶対に触らず、また食べないようにしてください。

※『カエンタケ』の特徴

- ・表面はオレンジ色から赤色
- ・形は円筒形または、土から手の指が出ているような形
- ・発生時期は夏から秋
- ・毒性分はトリコテセン類。皮膚刺激性があるため、手に取って観察するだけでも皮膚炎を起こす恐れがある
- ・食べると、短時間で症状が現れる。下痢・嘔吐などに始まり、運動障害・言語障害・多臓器不全などの症状を引き起こし、死に至る恐れもある。致死量はわずか3g程度



連絡先

連絡先名	経済振興課
連絡先住所	〒630-0288 奈良県生駒市東新町8-38
TEL	0743-74-1111 内線(農林係:324 商工観光係:326)
FAX	0743-74-9100
URL	http://www.city.ikoma.lg.jp/kashitsu/03600/

copyright (C) Ikoma City All Rights Reserved.

カエントケに注意！

カエントケに注意！

奈良県北部地域(生駒市内の一部, 大和郡山市内の一部)の山間で、カエントケが発生しています。カエントケは、たいへん危険なキノコで、触るだけで炎症を起こすことがあります。見つけても、絶対に触らないでください。



(奈良きのこの会提供)



(奈良きのこの会提供)

カエントケは、広葉樹林等で見られます。現在は、奈良県北部地域（生駒市内の一部、大和郡山市内の一部）で発見されていますが、他の地域でも発生の可能性があります。

カエントケについて(厚生労働省ホームページより)

- 【特徴】 表面はオレンジ色から赤色，細長い円柱状または棒状で，土から手の指が出ているように群生または単生する。中は白く，硬い。
- 【発生時期】 夏から秋
- 【発生場所】 ブナ，コナラなどナラ類などの広葉樹林の地上に群生して発生する。
- 【症状】 食後30分から，発熱，悪寒，嘔吐，下痢，腹痛，手足のしびれなどの症状を起こす。2日後に，消化器不全，小脳萎縮による運動障害など脳神経障害により死に至ることもある。
- 【毒成分】 トリコテセン類：毒性は強く，食べても，触っても毒である。死亡例あり。

(注意)見た目は気味が悪く，食用に見えないが，薬用と勘違いして酒に浸して飲んで中毒が起き，死亡した例がある。

毒キノコによる食中毒に注意しましょう | 厚生労働省

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/kinoko/index.html

毒キノコの種類別発生状況

※厚生労働省 HP より

毒きのこの種類	間違えやすい食用キノコの例	平成15～24年			平成25年		
	(「自然毒のリスクプロファイル」より)	事件数	患者数	死者数	事件数	患者数	死者数
ツキヨタケ	ヒラタケ、ムキタケ、シイタケ	214	786	0	11	43	0
クサウラベニタケ	ウラベニホテイシメジ、ホンシメジ、ハタケシメジ	106	351	0	0	0	0
ドクササコ	カヤタケ、ナラタケ、ホテイシメジ、アカハツ、チチタケ	24	45	0	0	0	0
カキシメジ	ニセアブラシメジ、チャナメツムタケ、シイタケ	21	63	0	0	0	0
テングダケ	—	21	38	0	1	1	0
ドクツルタケ	シロマツタケモドキ、ハラタケ、ツクリタケ	6	11	3	0	0	0
ヒカゲシビレタケ	シロマツタケモドキ、ハラタケ、ツクリタケ	7	18	0	0	0	0
ドクヤマドリ	ヤマドリタケモドキ	5	22	0	0	0	0
ニガクリタケ	ナメコ、クリタケ、ナラタケ、ナラタケモドキ	5	6	0	0	0	0
ハイロシメジ	—	3	6	0	0	0	0
ニセクロハツ	クロハツ、クロハツモドキ	3	9	4	0	0	0
シロタマゴテングダケ	—	2	6	0	0	0	0
ニセショウロ	—	2	3	0	0	0	0
ネズミシメジ	シモフリシメジ	2	10	0	0	0	0
ベニテングタケ	タマゴタケ	2	2	0	0	0	0
カエントケ	ベニナギナタタケ	1	3	0	0	0	0
タマゴダケモドキ	キタマゴタケ	1	1	1	0	0	0
ヒメアジロガサ	ナラタケ	1	2	0	0	0	0
その他	—	71	152	1	5	9	0
不明	—	73	208	0	20	55	1
合計		570	1742	9	37	108	1